

<問い合わせ状況 2024年8月>



● 院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5~10件程度の問い合わせに対応しています。8月の疑義照会は5件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認
- 規格変更
- 残薬調整
- その他：吸湿性のある薬剤の1包化について 等

● 薬に関する問い合わせ(患者・家族・施設より)

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

8月はお問い合わせが1件ありました。

- 緑内障患者より、ドパコール服用について



● 薬に関する問い合わせ(院内より)

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してあるDI室への問い合わせは、8月は5件でした(病棟で直接質問されたことは未記載の可能性が有ります)。

◎が ついたものについては回答をDIニュースNo.463に記載しています。

- ネオーラル[®]カプセルは粉碎可能か → 軟カプセルであり、不可
- ◎油性ペンで輸液ボトルに直接記入してはいけないのか?
- ◎トロンビンは重曹水で服用するが、PPI服用患者でも重曹水は必要か?
- オンダンセトロン®の小児用量は? → 0.05~0.1mg/kg。
- パキロビッドパックの用量、相互作用について → 患者の状態を確認して回答

